

そんなつもりじゃなかったのに……

友人間で回すメッセージによる待ち伏せ被害

友人の間だけで回した内容だったのに



ネットで知り合った人に待ち伏せされた

水曜日は、この塾に通っていません。



無料通話アプリで、学校の友人からバトンが回ってきました。質問内容を読み、Jさんは、軽い気持ちで名前や年齢、学校名などを答えました。

ネットで知り合った男性に待ち伏せされたJさん。以前その人に無料通話アプリのアカウントを教えたため、Jさんの情報が見られていたのです。

考えてみよう!

「仲間内のやりとりを、知らない人に見られていた」「プライベートな情報を、自分が知らない“友だちの知人”が見ていた」としたら、どんなことが起きるでしょう?

A. 公開範囲は設定した?

無料通話アプリは仲良ししか読めないから大丈夫だと思いき、細かい設定をせず使っている子がいっぱい。友だち追加はもちろん、タイムラインの公開・非公開の設定も必須です。

B. 誰かとつながる怖さ

知らない人とつながることによる危険はいろいろあります。知らない人を登録している仲間がいれば、「この子の友だちなら安心」と思われて、危険は広がります。

C. 読める人を考慮して投稿

基本的に、プライベート情報はネットに載せない。どうしてもバトンをしたいなら、部外者には見えないところが!が鉄則。ネットでの友人が欲しいなら、個人情報は載せないで。

解説 バトンの内容、読めるのは本当に親しい友人だけ?

無料通話アプリのタイムラインなど、日常のつぶやきを投稿できるサービスを利用した「バトン」というものはやっています。バトンとは、定型の質問に答えながら次の人へと回っていく遊びのようなもの。一般的なチェーンメールとは違ってもともと悪意はないのですが、公開範囲設定をしていなければ、友だち登録しているすべての人が読めるため、トラブルに発展することも少なくありません。個人情報は答えない・回さないように心掛けるとともに、ネットで一言二言話して友だち登録した相手は、タイムラインの非公開設定をしましょう。

ワンポイントアドバイス

コミュニケーション系アプリの多くは、読んでもいい人の設定ができます。設定の状態を確認させると共に、個人情報の扱いへの注意喚起を。

青少年をとりまく現状

青少年センターでは、青少年の非行を未然に防ぐため、長期休み期間中に街頭巡回を実施しています。青少年が集まりやすいゲームセンターなどの場所を巡回し、声掛けや助言を行っています。

県内の青少年の非行・犯罪件数は減少傾向にありますが、スマホやSNSに関連した犯罪被害が報

告されています。ネットトラブルに巻き込まれないためには①ネット上で知り合った相手を簡単に信用しない②個人情報を書き込まない③自撮り写真を送信しないことなどが大切です。スマホやSNSの使用方法を再確認しましょう。また、ネットやゲーム依存の傾向が強くなっています。ルールを定め、決められたルールの中で楽しみましょう。

全国的には、大麻の所持・使用で摘発される青少年の増加が問題となっています。麻薬ではなくても、医薬品などを本来の目的以外で使用することは薬物乱用となり、処罰の対象となります。県内では青少年の検挙者はいませんが、危険性を理解し、使用しないようにしましょう。

青少年相談窓口をご利用ください

誰にも相談できず一人で悩んでいる児童・生徒の皆さん、子どものことで悩んでいるお父さん、お母さんなど、気軽にセンターへ相談してください。メールでの相談も受け付けています。

●面接での相談 市役所3階5番窓口 月曜日～金曜日(祝日除く) 午前9時～午後5時

●電子メールでの相談 ☒seishonen@city.azumino.nagano.jp

電話での相談もできます。学校での交友関係やいじめ、ネットトラブル、不登校、発達障がいなど、子育てや教育に関する相談を「子どもと親の相談電話」で受け付けています。

●電話での相談 ☎72・2238 月曜日～金曜日(祝日除く) 午前9時～午後5時